

平成27年度 茅ヶ崎市地域包括支援センター運営評価指標シート

地域包括支援センター名：海岸地区地域包括支援センターあい

試行的実施

1. 今年度の重点的な取組方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
1-1. 市の方針に即している	4	市の計画や実施方針に基づき委託事業として地域包括ケアシステムの構築や次世代への人材育成など市(基幹型包括等)と連携を図り、研修に参加し周知する等取り組んでいる	4	市の方針に基づき運営体制の強化に努めている。また、年4回地域ケア会議を実施できており、地域との顔の見える関係づくりを進めている。	4
1-2. 長期的な視点で見たときの今年度の位置付けを意識している	4	地域包括ケアの充実を目指すため地域ケア会議の開催を年4回行い、地域への意識づけとネットワークの構築を図った。	4	議決権はないものの、まちから協議会の定例会へ参加することとなった。地域内で包括の位置づけを明確することができ、今年度の目標を達成したものと考えられる。	4

2. 組織の運営体制の具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
2-1. 組織体制が明確である	3	毎週法人の朝礼に出席し、月1回の医療連携会議にも参加するなど法人と連携を図る体制がある。法人本部へ毎月報告を行っている。	4	管理責任者と管理者の役割分担を行っており、対外的な対応は管理責任者、内部は管理者が対応している。また、法人の中での位置づけについても明確に返答が得られた。	4
2-2. 切れ目なく三職種を配置し、業務を継続するための取り組みがある	4	欠員の少ないよう退職希望を3か月前からとし、28年度に向けた職員確保のため、法人のホームページで募集する等法人人事と連携を図った。	4	平成27年度末の退職予定が分かっていたため、年度内から引き継ぎの準備を行っていた。また、次代を見据えて、組織内の人材育成を含めた業務引き継ぎを適宜行っている。	4
2-3. 適正な職員配置をするための取り組みがある	4	相談数やケアプラン作成件数等の業務量に応じて職員を配置し、3職種の他、介護支援専門員2名体制としている。	4	3職種が包括的支援事業を実施するに当たり、支障が生じないよう事務員、ケアマネジャーを雇用し、業務量を調整している。	4

3. 職員間の連携に関する具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
3-1. 三職種の専門性を生かしてチームケア実現に向けた取り組みがある	3	部会や研修等報告書を共有し相互の専門性を理解・共有し、個別ケースの相談助言等話し合いの場を持ち連携を図っている。	4	3職種による同行訪問を実施している。同行の基準については、ケースの内容によって担当者間で問題意識、介入するポイントを共有し、その都度判断している。	4
3-2. 職員間の効果的な連携を促進するための取り組みがある	3	毎日の朝礼や月に一回のミーティングなどで状況の報告をし、話し合いの場を作っている。記録に残し全員に周知し、主担当不在でも対応できる体制を取っている。	4	連携に当たっては、朝の申し送りを活用している。主担当不在時には、他職員がそれまでの記録をもとに対応し、主担当者へ報告している。	4
3-3. 包括的支援事業の4業務を実施するにあたり、各職種の専門性が生かされている	3	事業ごとに主担当を決め、専門性を活かし、他の職員からのアドバイス等連携を図りながら職員全体で取り組んでいる。	4	全職員でミーティングを実施して役割分担を行っている。それぞれの業務によって専門性の観点から主担当を決定するが、全職員が業務に参加している。	4

4. 公正・中立性確保のための具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
4-1. 公正・中立性を確保するための取り組みがある	4	介護事業所の紹介については利用者の希望を聞き、利用者が選択できるよう働きかけ、偏りが無いようにしている。毎月の報告書や実績にて管理者が確認している。	4	事業所の紹介方法として、利用者の希望に沿った事業所を担当者が選定し、2~3カ所提示して選択してもらう方法を取っている。	4
4-2. 職員に対する意識啓発に取り組んでいる	4	毎日の朝礼や月1回のミーティング等で職員の情報交換の場を持ち、受付ノートの作成や届け出書類の管理により各自紹介先が確認できるようにし紹介状況を共有している。	4	紹介した事業所を台帳に記録しており、職員が随時確認出来る体制になっている。記録には、日時、事業所名、紹介理由等がまとめてあり、ヒアリングの際に現物を確認した。	4

5. 緊急時対応の具体的方針(災害時含む)					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
5-1. 緊急時の体制が整備されている	4	緊急時の連絡網を作成し、法人へも報告する体制が取れている。適宜更新し、事業所内に掲示している。	3	身の安全を確保してから対応に当たることを職員間で共有している。具体的な参集基準等については、組織として明確に共有できていないとの発言があった。	3
5-2. 防災・減災のための取り組みがある	4	消防計画をもとに、年1回事業所内の防災訓練を実施し、反省会を行った。事業所内にハザードマップを掲示し、消火器の点検を年1回行っている。バックアップ等データ管理も毎日行い、緊急時持ち出し書類に印をつけて持ち出し袋を準備している。	4	データのバックアップは常に取ってある。消防計画に基づいて、それぞれの職員の役割を決定しており、ヒアリングの際に役割分担表の現物を確認した。	4

6. 個人情報保護に関する具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
6-1. 個人情報保護に関する具体的な取り組みがある	3	個人情報に当たる物は施錠できる環境で保管し、持ち出さない。個人を特定できるものはすべて責任を持って破棄。取扱いについて掲示をしている。	4	シュレッダーによる破棄、若しくは環境事業センターまで持出し、破棄している。電子データは業者に依頼して完全消去しており、その証明書の現物を確認した。	4
6-2. 職員に対する意識啓発に取り組んでいる	4	H27年11月に民生委員向けの「個人情報の取り扱いについて」の勉強会を開催した。職員の意識啓発もかねデータ管理については十分に注意するよう事業所内で共有している。	4	個人情報保護の講習会へ参加したほか、司法書士に依頼し、民生委員向けの勉強会を実施している。	4

7. 苦情対応に関する具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
7-1. 苦情対応のための適切な体制が整備されている	4	苦情解決の仕組みと役割の手順をマニュアル化している。責任者により個別指導を行ない、苦情対応記録を市役所へ提出し速やかに報告している。	4	苦情対応マニュアルに基づいた対応を徹底しており、苦情記録の作成、必要に応じた担当者変更、市への報告を行っている。苦情記録、マニュアルは現物を確認した。	4
7-2. 再発防止のための取り組みがある	4	法人内で職員にヒアリングする機会を持ち個別指導を行なっている。苦情については職員全体で取り組み情報を共有している。	4	苦情記録をもとに、担当者の意見も勘案して話し合いを行い、再発防止に努めている。苦情があった際には法人の事務長が職員へヒアリングを実施している。	4

総合評価(平均点)	3.69		3.94		3.94
-----------	------	--	------	--	------

総合評価(自己) 事業計画に沿って、チームワークを活かした相談業務に取り組んでいる。事業所内に常に1人以上待機いつでも来所者の対応ができる体制を整えワンストップ相談窓口としての機能を意識し、訪問対応等速やかに行なっている。ちがさき体操・湘南くち体操の実施(年間延べ193名参加)や認知症サポーター養成講座(2回実施55名参加)の開催、地域のお祭りに参加し住民の健康相談ブースを設けるなど地域へ向けたアプローチを続け健康維持・介護予防に努めた。今年度は地域ケア会議の開催を重点的な取り組みとして活動した。年4回実施でき、地域の関係機関の協力を得てネットワークづくりに取り組むことが出来た。次年度はまちから協議会への参加を予定しており、今後の地域ケア会議の在り方を検討していきたい。

総合評価(基幹型) 事業計画に基づき、平成27年度の重点的な取り組みに挙げられている地域ケア会議を年に4回開催すると共に、健康教育等の独自事業も積極的に取り組んでおり評価できる。また、まちから協議会定例会への参加等、地域との顔の見える関係づくりを進めた結果、包括あいの役割や業務について地域の方々の理解が深まっているものと考えている。随時、職員間で情報を共有し、職種の専門性を活かしながらチームケアができている。緊急時対応については、職員間で具体的な行動について共有できる体制づくりが必要である。28年度においては、27年度に築いてきた地域とのネットワークを地域包括支援センターの運営に活かしていきたい。

運営協議会の意見 地域ケア会議を年4回開催することが出来たのは評価でき、地域の中で独自の事業、活動を積極的に行っている。緊急時の対応を含め、事業所としての取り組みを職員がよく理解し、行動できるよう今後も努めていきたい。

総合評価(市) 重点的な取り組みとして地域ケア会議の開催に取り組んでいただき、年4回の会議を開催され、地域でのネットワークづくりに積極的に取り組んでいただいていることを評価させていただきます。また、組織の運営体制においては、3職種の包括的支援業務が円滑に運営できるよう、また、事務局が不在にならないよう、事務員等を雇用するなど体制づくりに取り組んでいることも評価します。緊急時対応については、事業所内防災訓練の実施し反省会を通して役割分担なども明確にしていることが評価できます。今後については、具体的な参集基準や行動計画等の整備を進めていただきたいと思います。

運営状況レベルの内容	評価点
求められる評価基準を満たしており、具体的成果が見られる	4
求められる評価基準を満たしている	3
求められる評価基準を満たしていないが、取り組みは行っている	2
求められる評価基準を満たしておらず、取り組みも行っていない	1